

# 庄内協同ファームだより

No.172 2018年5月号



発行/

〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野338  
tel.0235-78-2120 fax.0235-78-2140  
<http://www.shonafarm.com>



そのため同じ町内でも降雪量が全く違います。特に立谷沢地域は別世界です。今年は大雪警報が何回も発令されるほどの大雪で豪雪対策本部が設置されました。立谷沢の一番降ったところでは4メートル以上の積雪を観測しました。

除雪で飛ばしたり押したりして山になつたところの雪山の雪を機械でダンプに載せて、指定の場所に捨てる排雪作業で立谷沢地域に行くのですが、私がこの原稿を書いてから月山のふもとまで、最上川と立谷沢川の流域に広がる長細い形の町です。

私は12月から3月まで、町道の除雪の仕事をしています。私が住んでいる庄内町は山形県東田川郡の庄内地方中央に位置する人口約2万人の町で、庄内平野の中央部から月山のふもとまで、最上川と立谷沢川の流域に広がる長細い形の町です。

「おはようございます。出るそうです。お願いします。」午前2時の電話で起こされて、すぐに連絡網を回して着替えてステーションに向かいます。機械に乗り込み相方との長い一日の始まりです。途中運転を交代しながら路線を走り、8時過ぎに一旦帰宅して朝ご飯です。その後また戻り昼頃までに残りの路線をまわります。通常なら午後2時過ぎで上がれるのですが、本格的にシーズンインすると夕方まで作業が続きます。

そのため同じ町内でも降雪量が全く違います。特に立谷沢地域は別世界です。今年は大雪警報が何回も発令されるほどの大雪で豪雪対策本部が設置されました。立谷沢の一番降ったところでは4メートル以上の積雪を観測しました。

除雪で飛ばしたり押したりして山になつたところの雪山の雪を機械でダンプに載せて、指定の場所に捨てる排雪作業で立谷沢地域に行くのですが、私がこの原稿を書いてから月山のふもとまで、最上川と立谷沢川の流域に広がる長細い形の町です。

私は家の種まきも無事に終わりました。庄内協同ファームに出荷している有機栽培のササニシキと、農協出荷の特別栽培つや姫、慣行栽培のはえぬきの三品種です。毎年娘たちが何かしらの作業を手伝ってくれのですが、今年は小学4年生の末っ子が床土の肥料合わせから始まり、種まきの時には苗箱出しや床土入れを半日手伝ってくれました。以前はすぐに飽きていたような作業でも黙々とこなしたり、力仕事も手伝ってくれたりする姿に娘の成長を感じつつ一緒にできるうちは出来るだけやり続けていきたいと思っています。

話題は変わつて、私が庄内協同ファームにお世話をなつたきっかけは同じ町内の農家の先輩からの誘いを受けてのことでした。我が家では稻作のほかに菌床椎茸なども栽培しており、私が就農したての頃椎茸部会の青年部活動をとおしてお世話をなつた方です。実際庄内協同ファームに入るまで糺余曲折ありましたがその先輩の熱心な姿勢と勧誘のおかげで現在があります。地域を引っ張っていくその背中は、自分の事でいっぱい私にはまだまだ遠い存在ですが目標にしている存在でもあります。ファーム青年部の個性豊かですが情熱をもつて一生懸命仕事に取り組んでいる仲間たちと交流しながら、今年も汗をかいて安全でおいしい米作りで明るい農業を頑張りたいと思います。

# 生産者集会 2018

安心農産物生産委員会 富樫俊悦

3月14日に生産者集会を開催しました。

午前の部では農業の技術や方針の確認、全委員会、全部会からは一年の

総括と今後一年の計画を話してもらいました。また、今年は新たに「組合員と有機栽培面積拡大の為の課題と方策」と銘打って参加者全員で話し合いをしました。組合員が減少し有機栽培面積も少しづつ減っている。組合員や協力組合員が増えないのは何故なのか?そして、その解決策としてどんなことが考えられるのか?この問い合わせに対して、「有機農業に興味を持っている学生や生産者はいるはずだから、もっと庄内協同ファームを知つてもらう機会を作ろう。」「興味はあっても、有機で作ることのメリットが無ければやれない。魅力的な価格を提示しなければいけない。」「有機じゃなくても減無栽培からでも協力組合員がはじめられればとつきやすいと思う。」などなど皆さんから活発な意見が出されました。現在、青年部を中心にして新規組合員獲得のための活動を開始しました。活躍を期待しています。

午後の部では、元農林水産大臣の山田正彦氏より「種子法廃止とこれからの日本の農業について」という題で御講演を頂きました。この講演は興味ある人なら誰にでも聞いてほしいという思いで無料一般公開しました。フェイスブックやチラシなどで宣伝したこともあり、庄内だけでなく遠くは郡山市や尾花沢市からもご来場下さり、参加者は総勢72名にもなりました。

講演では種子法廃止もTPPが原因になっている事、種子法廃止で種子代金が高騰する事、企業の種子を使



う時の契約書の読み方などなど沢山の驚くような話がありました。特に私が驚いたのは、政府が規制改革推進会議の言いなりになっている理由でした。TPPの条文を見ていくと、アメリカの意向を受けて規制改革推進会議が政府に働きかけた事は政府が拒否できないように決まっているそうです。種子法廃止もその流れの上でのこと。その証拠に国や県などの公共機関が長年積み上げて



きた育種の知見は海外の会社にも全て無料で公開しなければならなくなりました。悲観的な未来が見ええてきます。しかし、私達にも出来ることがあると山田さんは言います。「地方自治法に基づき、住民投票制度を基本条例にいれること」これによって住民による地域づくりが可能になる。イタリアでは、乱れた政治に諦めしか持てなかった市民国民が住民投票の条例を作り、たった10年で政治が変わったそうです。終始穏やかな口調で語りかける山田さんのほほ笑みが印象的でした。



山田正彦氏より講演



商  
品  
紹  
介

## 「笹巻き」

## 「むぎちゃん」

昔から引き継がれてきた庄内のおやつで、端午の節句のこの時期に、子供達の成長を祝いながらどの家でもおばあちゃん達が作ってくれ、台所の隅につるしてありました。

我が家では、母が都会に嫁いだ姉妹に送るために毎年作ってきた物を、数年前から庄内協同ファームで取り扱っていただく事になりました。全てが手作業の為、量産は出来ませんが、田舎風味の懐かしさからか、遠く離れて暮らす家族や親族に届けるように毎年注文をいただいています。原料は我が家で栽培したもち米と柿畑に隣りの家から進出してきた笹の葉、ヒモも自生しているスゲを使っています。それと庄内協同ファームのきな粉、国産原料の黒蜜を使用しています。今は世界中の美味しいものが手に入る時代ですが、見た目の素朴さや昔からの味は、ふと子供の頃の風景を思い出させてくれると思います。

三角の少し黄色の  
笹巻きに黒蜜と  
きな粉をかけてご賞  
味ください。  
芳賀 修一



餅の製造もひ  
と段落した4月  
中旬、ここ庄内  
協同ファームか  
らは香ばしく甘

い香りが漂ってきます。何を製造しているのかというと暑い夏にカラッカラに乾いた喉にぐいっと飲みたくなるもの、そう、麦茶のむぎちゃんです。

今回ご紹介する「むぎちゃん」の最大の特徴は何と言つても独特の香ばしさと優しい甘さ。飲んだ方が思わず美味しいと言つてしまふ庄内協同ファームの大看板です。

この特徴は大麦を低温でじっくり焙煎することで引き出されます。低温焙煎とはいっても、焙煎室は暑い日には室温40℃近くになりますし、作業は焼きむらの無いよう火力減を調整するので常に目が離せない真剣勝負です。

「ああ、今すぐおいしいむぎちゃんを一気飲みしたい!」作業者のそんな気持ちがむぎちゃんを一層おいしくしているのかも知れません。

今年の夏は暑くなるのでしょうか。食欲のない時には麦茶漬けなんていうのもおいしいですよ。麦茶はカフェインが入っていないので、お子様からお年寄りまで安心してお飲みいただけます。むぎちゃんをよろしくお願ひします!

佐藤 弘明

## 庄内おかあさんの ～おいしい台所～

### ～米粉グラタン～

(材料) 玉ねぎ、しめじ、鶏肉、うす切りもち、うるち粉(大さじ3)、牛乳又は豆乳(300cc)、コンソメ(適量)、とろけるチーズ、塩、コショウ、バター(少々)

(作り方)

1. ボールにうるち粉、牛乳、コンソメをいれてよくかき混ぜる
2. 玉ねぎ、しめじ、鶏肉を食べやすい大きさに切り、バターを入れたフライパンで炒める(鶏肉に火が通るまで)
3. 火が通ったら、1と塩コショウを入れてとろみが出るまで煮る
4. 耐熱皿に3とうす切りもちを入れ、上にとろけるチーズを乗せる
5. トースターでチーズに焦げ目がつくまで焼く(約5分)



お子様大好き!  
グラタンレシピ!!

中に入れる材料は  
お好みで何でもOK!

本間美佳



## 里山 冬から春へ

無い。

人の気配がない夜の山の柿園は様々

な生き物たちの世界の様だ。もう少し

でお腹が雪面につきそうな足跡は足の

短いタヌキかムジナか、一列に足跡が

並ぶのは警戒心の強いキツネか、4点

の足跡が飛んでいるのは間違いくつウ

サギ、もう少し大きい足跡は一体何者

か!!柿の園地から杉林へ一晩の間にこ

れだけ多くの生き物たちがこの斜面を

通り抜け、ニアミスもあったのではないかと想像すると思わず楽しくなる。

今は4月、柿園の雪も消え、山は芽

吹きの季節だ。マンサクに始まり、水

辺のヤナギ、足下ではフキノトウが満

開だ。

ハウスの準備から始まり、種糲や床

土の準備そして播種作業と春の農作業

に追われ、なかなか振り返ることが無

かつた芽吹きの季節の風景だがカメラ

を構えてみると、被写体に事欠かな

い。

思わぬ大雪となつた今年の冬、雪の中で飢えを凌いできた動物たちも、枝を折られそうになりながらも春を迎えることができた果樹や山の木々もいよいよ活動が始まる季節だ。喜寿を迎えた今年、少し早めの桜の花見を楽しみに私も活動を開始しようか!!



3月の晴れた

朝、柿の剪定作

業に向かう道す

がら山の斜面に

付けられた様々

な足跡を発見。

最近、農作業の度にカメラを持ち歩くことが多くなつた私の目には今までに気がつかなかつた様々な景色が飛び込んでくる。この足跡もその一つだ。しかし、この様にくつきりとしかも賑やかな足跡に出会う機会はそう多くはない。

やかな足跡に出会う機会はそう多くはない。

しかし、この様にくつきりとしかも賑

やかな足跡に出会う機会はそう多くはない。



## あとがき



関東地方から遅れること三週間、地

元鶴岡でも四月四日によく桜の開

花宣言が発表されました。まだ満開と

はいかない地元の名所を横目に、はや

る気持ちを抑えられなかつた私はすで

に満開の宮城県まで足を延ばしてみる

ことにしました。これまで地元の桜し

か見たことのなかつた私は、県外の名

所に向かうとあつて高揚する気持ちを

抑えながらハンドルを握っていました。

ところが、山道に差し掛かつたころチ

ラチラと白いものチラつき始め、「い

やいや、もう四月だから(笑)」と空に

ツッコミを入れながら進んでいくと、

月山(出羽三山の一つ)周辺まで来る

と既に5cmほどの積雪。しかも道路は

圧雪。すでにノーマルタイヤに交換を

すませていた私の手のひらは汗でびつ

しより、同乗者との会話も無くなつて

いました。なんとか無事に山を越えて

現地に着くと気温は一桁でしかも強風、

お世辞にも花見日和とは言えない天候

でしたが、これまで見たことのない桜

の景色は、雪に降られたことのない桜

でした。来年も来たいと思える程でした。来

年は今年の反省を活かし、決して山を

甘く見ず、イヤイヤチエーンを購入して

万全の状態でお花見ドライブに出掛け

たいと思います(笑)

(玉)